

2-1 臨床検査に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清アルブミン値上昇 ————— 蛋白漏出喪失性胃腸障害
- (2) ヘモグロビン A1c 低下 ————— 貧血
- (3) 総コレステロール値上昇 ————— バセドウ病
- (4) γ -GTP 値上昇 ————— アルコール性肝障害
- (5) コリンエステラーゼ値低下 ————— 脂肪肝

2-2 栄養アセスメントに関する記述である。正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

- a. 上腕筋面積は、静的アセスメント項目である。
 - b. トランスフェリンは、内臓たんぱく質の指標である。
 - c. 上腕三頭筋皮下脂肪厚は、エネルギー消費量の指標である。
 - d. クレアチニン身長係数は、腎機能の指標である。
- (1) aとb (2) aとc (3) aとd (4) bとc (5) cとd

2-3 よくコントロールされている糖尿病治療中の患者の検査値である。正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

- a. 空腹時血糖値が 40 mg / dL である。
 - b. 食後 2 時間の血糖値が 140 mg / dL である。
 - c. HbA1c が 6.0% である。
 - d. 血中コレステロールが 260 mg / dL である。
- (1) aとb (2) aとc (3) aとd (4) bとc (5) cとd

2-4 胃がんに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 年齢調整死亡率は、増加傾向にある。
- (2) 組織型では、扁平上皮がんが多い。
- (3) スキルスがんは、高齢者に多い。
- (4) 胃がんの転移は、リンパ行性が多い。
- (5) ダンピング症候群の予防には、1回の食事を多くするとよい。

2-5 高血圧症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食塩の摂取量は、10 g / 日未満とする。
- (2) 肥満を合併する場合は、BMI 25 以上を目指す。
- (3) 野菜、果物の摂取は制限する。
- (4) 糖尿病を合併した高血圧の治療には、アンギオテンシン受容体拮抗薬が使用される。
- (5) 妊娠中の高血圧の治療には、アンギオテンシン変換酵素阻害薬が使用される。

2-6 血液透析療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血液透析では、尿素窒素が濾過される。
- (2) 血液透析施行患者の不均衡症候群は、透析終了後に起こりやすい。
- (3) 血液透析では、食塩摂取量の制限は必要ない。
- (4) 血液透析は、通常月1回5時間の透析が行なわれる。
- (5) 血液ヘモグロビン濃度は、9 g/dL 以下に維持する。

2-7 慢性閉塞性肺疾患（COPD）に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 女性に多くみられる。
- (2) 患者には肥満者が多い。
- (3) 口すぼめ呼吸がみられる。
- (4) 血中酸素分圧の上昇が認められる。
- (5) 安静時エネルギー消費量の低下が認められる。

2-8 ホルモンと分泌される器官の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) オキシトシン ————— 下垂体前葉
- (2) 副腎皮質刺激ホルモン ————— 下垂体後葉
- (3) パラトルモン ————— 甲状腺
- (4) アドレナリン ————— 副腎皮質
- (5) レニン ————— 腎傍糸球体装置

2-9 骨粗鬆症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清カルシウム値が低下する。
- (2) ビタミンD 欠乏により発生することが多い。
- (3) 納豆やブロッコリーの摂取を推奨する。
- (4) 非ステロイド系消炎鎮痛薬（NSAID）の使用は原因の1つである。
- (5) 大腿骨骨幹部骨折の合併が多い。

2-10 貧血に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 鉄欠乏性貧血は、正球性正色素性貧血である。
- (2) 腎性貧血は、大球性正色素性貧血である。
- (3) 悪性貧血は、小球性低色素性貧血である。
- (4) 葉酸欠乏性貧血は、神経症状を伴わない。
- (5) 再生不良性貧血は、胃全摘出後患者にみられる。

次の文を読み「2-11」、「2-12」に答えよ。

58歳男性、身長174cm、体重70kg、34歳のときに急性肝炎（C型）で入院した。1か月前より全身倦怠感を訴えて来院。眼瞼結膜黄染、胸部皮膚にクモ状血管腫、腹水、下肢に浮腫を認める。血液検査の結果、血清アルブミン値3.1g/dL、血清総ビリルビン値2.5mg/dL、AST 250IU/L、ALT 180IU/L、プロトロンビン活性値70%、血中アンモニア濃度：110mg/dL、 α -フェトプロテイン値3000ng/mLであった。飲酒はしない。

2-11 この病態として正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

- a. 代償性肝硬変
- b. 非代償性肝硬変
- c. 肝細胞癌
- d. 非アルコール性脂肪肝炎

(1) aとb (2) aとc (3) aとd (4) bとc (5) cとd

2-12 この患者の治療方針として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、30kcal/kg標準体重とする。
- (2) たんぱく質摂取量は、1.2～1.5g/kg標準体重とする。
- (3) 塩分制限を行なう。
- (4) 分岐鎖アミノ酸製剤を投与する。
- (5) ラクツロースを投与する。